

漁民と手をつなく広報誌

風を力に



地域共生・協調をめざして

山形県遊佐沖の洋上風力発電事業は2030年6月からのスタートを目指し、事業者として丸紅株式会社、建設会社の丸高（酒田市）などで構成する「山形遊佐洋上風力合同会社」が選定されました。

このことを受け、1月9日(木)には丸紅洋上風力開発株式会社 代表取締役社長 真鍋寿史氏が当組合を表敬訪問され、組合長との懇談の後、役職員を交え記念撮影を行いました。





新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 本間 昭志

新年 明けましておめでとうござ
います。

令和七年の新春を迎え、組合員の
皆様、役員ならびに水産関係団体
の皆様にご挨拶を申し
上げます。

昨年一月元日には石川県能登地方
を震源とする能登半島地震が発生し、
同時に東日本大震災以来となる大津
波警報が発令され、日本海側の広い
範囲で津波が確認されました。亡く
なられた方々に対しまして哀悼の意
を表します。また、一日も早い復興を
お祈り申し上げます。当組合と石川
県漁協とはいか釣り漁業や定置網漁
業で繋がりがあり、皆様からの義援
金と酒田港での復興応援イベントで
集まりました募金を届けております。
当組合の状況を顧みますと、三年
連続経常利益を確保する事が出来ず、
十一月から時化による出漁日数の減
少といか釣り漁業の歴史的低迷によ
り、これまで経験したことが無い程

の厳しい状況が今現在も続いており
ます。

三期連続の赤字に対してはJFマ
リンバンクよりレベル指定が発行さ
れており、事業収益確保に向けたよ
り一層の努力が求められております。

当組合を取り巻く状況の変化は我々
の想像をはるかに超えて悪化してお
り、これまでに無い大幅な経営改革
も視野に入れ、漁協組織の健全化の
ために総力を挙げて各種事業推進・
浜の活性化に取り組んで参る所存で
あります。

このような中、昨年末に遊佐町沖
洋上風力発電事業の事業実施者が総
合商社である丸紅株式会社（山形遊
佐洋上風力合同会社）に決定した事
について、まずは一安心し歓迎した
します。グループの中には地元企業
である株式会社丸高様も入っており、
ともに地球温暖化やエネルギーの安
定確保に向けて、山形県の漁業界
として協力をしていきたいと考えて

います。遊佐町役場や県とも連携し、
遊佐町の漁業振興を図り庄内地域の
若者から中堅、ご年配の方まで魅力
のある産業にしていきたいと思っ
ております。一月中には県と町、事業
者を含めた顔合わせが行われる事と
なっております。漁業者からは、漁
業に支障がある事が明言されており、
その支障を取り除き、更に今以上の
水揚げに値する協調策、振興策が求
められております。また、漁業影響

調査、魚類調査は直ぐにでも始めて
頂き、将来の水産業に安心を得る為
のデータ収集に取り組んで頂きたい
とお願ひする事としております。関
連する各種調査事業への用船配備に
係る手数料収入の確保、調査船・工
事船に向けた燃油の販売等、これま
で以上に情報収集を重ね、新しい分
野での事業利益確保に努める所存で
あります。

漁獲量の減少に歯止めを掛けるた
めの起爆剤として活用し、また、「こ
んなはずでは無かった」とならぬよ
う、慎重を重ねて取り組んで参りま
す。

今後も、関係機関のご協力とご指
導のもと、当組合が持続できる組織
として事業を継続していくためにも、
さらには組合員の皆様の負託にに応
えるためにも、組織・事業の変革を加
速する必要を痛切に感じております。

水揚げだけに依存する事の無い、安
定経営が成り立つ組織として、経済
事業の展開と組織改革を進めていか
なければならぬ事は組織内外に表
明しているところではありますが、新
年を迎え、組織一丸となり諸問題の
解決に努め、経営基盤の強化された
組織構築を必ず実現しなければなら
ません。

今年の十二支は「巳」、十干は「乙」、
干支は乙巳です。
六十年周期の干支の中で四十二番
目になる乙巳は「努力を重ね、物事
を安定させていく」年と言われてい
ます。

また「巳」は「再生と変化」を意
味し、脱皮を繰り返すことから不老
不死のシンボルともされてきました。
蛇のように再生や変化を繰り返しま
がら、柔軟に発展していく年。そん
な一年になるようお願いを込めて組
合員・役員の方には、経営の安定
に向けた取り組みの結果、当組合の「再
生と変化」に繋がる様に、引き続き
のご支援、ご協力を切に願ひする
ものであります。

最後になりましたが、全組合員を
はじめ、関係役員にとりまして良
い年でありますよう、また、操業の
安全と大漁、一層のご繁栄・ご健勝
をご祈念申し上げまして新年のご挨拶
といたします。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で安心操業！



伊原 光臣

日本漁船保険組合
山形県支所運営委員長

令和七年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

平素は当組合業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昭和12年に創設された漁船保険制度は、現在、日本の漁業者にしっかりと定着した、漁船漁業の経営安定に欠くことのできない制度となりました。平成29年には、全国45の漁船保険組合と漁船保険中央会を統合し、新たな日本漁船保険組合として事業運営を開始しております。本年で九年目を迎え、関係する皆様のご協力のもと順調に事業運営を進めることができました。

本県の漁業・水産業を取り巻く環境は、漁業者の減少・魚価安、燃油・資材の高騰に加え、近年は自然災害や異常気象による影響もあり、依然として厳しい状況が続いております。このような中、漁船保険は漁業経営のセーフティネットとしての役割を果たすべく、すべての漁業者に安心を提供できますよう稼働漁船の全船加入、船主責任保険及びPB責任保険の推進、保険金の早期支払いを重要施策として、役員一丸となって鋭意取り組んでまいります。今後とも皆様からの変わらぬご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健康と操業の安全並びに豊漁をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



本間 昭志

全国合同漁業共済組合
山形県事務所運営委員長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

さて、「ぎよさい」は台風・赤潮等の自然災害による被害や不漁・魚価の低迷などによる損失を補償し、漁業経営の再生産と安定を支える事業として、昭和39年に漁業災害補償法が施行され、昨年、制度創設60周年を迎えることができました。これもひとえに漁業者の皆様のご理解と漁協系統団体、行政など関係各位のご尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国際情勢の影響による燃油・餌料価格など経費の高騰、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水海洋放出に伴う風評被害など、漁業経営を取り巻く環境は依然として厳しい年でした。漁業経営のセーフティネットとして国の重要な水産施策として位置付けられている「ぎよさい」と「積立ぷらす」への加入は漁業経営を継続する上で欠かすことのできないものとなっております。これからも漁業者の期待に応えていけるよう、事業の円滑な実施に努めてまいります。

現在、国は「ぎよさい」と「積立ぷらす」について、水産基本計画等に基づいた制度見直しの検討を進めております。その検討にあたっては、漁協系統、漁業者団体と緊密に連携し、漁業実態の変化や、漁業者の意見が十分反映されるよう努力を傾注してまいります。

これからも漁業経営の安定と我が国水産業の発展に寄与できるよう、引き続き取り組んでまいりますので、皆様のお変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本間 昭志

JF水産東北事業本部山形支店
山形県JF共済推進本部
本部長

新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

当団体の事業運営につきましては、日頃より格別のお引き立てを賜わり厚く御礼を申し上げます。

本県JF共済推進本部は、「浜の笑顔を共済とともに」JF共済3か年計画（2023年度～2025年度）の中間年度として、「組合員のためが組合のために」「浜のあんしんサポートJF共済」という運動スローガンのもと「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」ため、一人ひとりが笑顔になれる、魅力ある地域づくりに貢献することを目指しています。

今年度は主力共済である生命共済「チョコー」と、建物共済「くらし」を中心にキャンペーンを展開するとともに、介護共済「あしす」と「あしすとぷらす」の普及促進に向けて全力で取り組んでいるところであります。

また、JF共済は漁村地域に生活する皆様の暮らしを守る活動として、全戸訪問活動を主体とした「浜のあんしんサポート運動」の実現に向けた取り組みや、個々のライフプランに合わせた保障点検活動を行なうなど、「浜に共済の輪をひろげよう」を合言葉に、JF共済の普及拡大に努め、事業量目標の達成に向け、推進本部挙げて鋭意取り組んでまいります。

結びとなりますが、2025年が皆様方にとってますますの大漁と、災害の無い平穏な一年になりますことをご祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



芝田 秀樹

全国漁業信用基金協会
山形支所 執行役員

新年明けましておめでとうございます。

当協会の業務運営につきましては、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

当協会は、漁業者の皆様が金融機関からの資金調達を円滑に行えるよう、その債務の保証を業務としております。本年度の新規保証引受件数は前年度と比べ事業資金や生活資金の需要増加により増加しましたが、新規保証引受金額は漁業近代化資金の需要減少に伴い減少しております。当協会としては、本県水産業を持続可能な魅力ある産業とするために、引き続き漁業者の皆様への信用力を補完し、金融の円滑化に取り組んでまいります。

さて、当協会では令和6年10月より漁業近代化資金に係る適用保証料率の引下げを実施いたしました。今回の保証料率の引下げは、将来的な保証料率の統一に向けた過程の一つと捉えており、定期的に保証料率の見直しを行うこととしております。本県水産業の振興を図るため、漁業者の皆様へのニーズに応えたサービスや利用しやすい安定した保証制度を提供できるよう役員一丸となって取り組んでまいりますので、是非ご利用下さいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健康を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で浜に安心を！

年男さん 大いに語る!



プロフィール

- ① 自分にとって過去1年間
良い事ベスト1
- ② 20年にかける夢
- ③ 漁協に期待すること
(水産業全体でも良ら)

昭和16年
生まれ



温海出張所
佐藤 清壽

前職は大工で74歳の定年まで勤めあげた。その後は地元の温海地区で漁師となり、栄寿丸(0.4トン)で主に磯見漁を営む日々。

- ① 健康に過ごせたことがなによりでした。
- ② 昨年はサザエがよかったので今年度も大漁できたらと思います。
- ③ 漁模様が変わり、獲れるはずのものが獲れなくなっていると強く感じます。また、漁具倉庫等の老朽化で解体の話も出てくるなど悩みが多い昨今ですが、漁家経営が少しでも良くなりましょう、今後も漁協、漁業者が協力・連携していきたいらよいと思います。

昭和28年
生まれ



念珠関総括支所
菅原 久継

平成7年から温海町議会議員を務め、平成19年から当組合員となり自船継丸(1.7トン)で漁業や遊漁船業を営む。その間、山形県漁協青壮年部連絡協議会の会長を務め、現在は山形県漁協遊漁船業協議会の会長を務め、現在は山形県漁協遊漁船業協議会の温海支部長を務める。その傍ら、鶴岡市のシルク事業に携わり、旧福栄小学校にて稚蚕飼育にも従事している。平成26年からは、庄内たがわ農協理事に就任。

- ① 年間を通じて病気もなく、家族皆健やかに過ごせたこと何よりです。
- ② 無病息災、健康第一、今年一年何事も無く過ごすこと。
- ③ 年々水産業をとりまく情勢は厳しくなる一方ですが、皆それぞれにやるべきことに精進し共にガンバロー!!



さかた総合市場
御船 信幸

20年前、娘の結婚を機に一念発起し脱サラして漁師となった。自船第二清海丸(2.9トン)にて一本釣り、刺し網漁業等を営む。

- ① 明けましておめでとございませう。家族に大きな病気やケガもなく無事に過ごせたこと、県外に住んでいる孫娘が春から就職したことです。
- ② 今年も健康に十分気を付けて、順風満帆な一年となるよう元気に頑張りたいです。
- ③ 天候不良、水揚不漁に魚価低迷。こんな時だからこそ、漁業者と組合が一丸となって巳年を乗り切りましょ。



飛鳥支所
讃岐 利行

昭和44年からいか釣り船・ます流し網船に7年間乗船後、自船金毘羅丸(3.84トン)で刺し網一本釣り、はえなわ漁業を営む。

- ① あけましておめでとございませう。自分にとって良いことベスト1は安全に操業出来たことです。
- ② 今年も健康で水揚げアップできたらと思います。これから益々寒さが厳しくなり、天候が荒れる時期ですが安全操業したいです。
- ③ 魚価安、燃油高騰、物価高と大変厳しい状況です。「魚価」がもう少し高値になるよう期待しています。



加茂出張所
秋野 亨

加茂水産高校卒業後、外国トロール船に7年乗船。その後2年トラック運転手として働いたのち、山形県漁業試験調査船「最上丸」に乗船し11年、山形県漁業監視調査船「月峯」に8年、再び最上丸に戻り現在13年目となる。船長となり21年経過した。

- ① 家族が大病せず、健康で過ごせたことです。
- ② 漁場調査を通じて漁業者の皆さんにとって、良い情報を提供できたと思います。
- ③ 厳しい状況の中ですが、少しでも魚が増え、漁家経営がよくなりますよう望みます。



吹浦支所
菊池 正和

吹浦で漁師になって15年になります。遊漁船(釣海丸)のほかに漁福丸(0.4トン)にて刺し網やかご漁をしております。

- ① 吹浦の漁業者皆、とても仲が良く和気あいあいと1年過ごせたこと。
- ② 例年と変わらず自分のすべき事を淡々と行うことが大切だと思っています。
- ③ 基本に戻って大きく広げた手を閉じていく事は出来ませんか。過去の遺物となってしまう物や形式等、手放せば楽になる事は沢山あると思います。大きな事を成すのは大変、でも小さな事でも重ねて行けば目に見える成果になって行くと思います。(小さいことから「ツツツツ」保守に走らず時代の変化に対応し、組合の現状が好転していくことに期待しています。



豊浦支所
大井 忠司

学校を卒業後、警備会社に42年間勤務している。最初の6年間は神奈川県が勤務地だったが、その後転勤で地元へ戻り、25歳からは仕事の傍ら漁業を営む。

- ① 家族皆大病もなく母も無事米寿を迎えられたことです。
- ② 安全第一を心がけ操業出来れば満足です。
- ③ 昨年から刺し網を始めました。網に大量のゴミが引っかかって修復するのに3日も要したことがあります。ゴミが少ない海になることを望みます。



由良総括支所
松崎 宏章

大学を卒業し、27歳から漁協に就職し早20年。

- ① 昨年の夏、行きたいと思っていた名古屋のサウナ施設ウエルビー栄でサウナを満喫できたこと。しっかり整いサウナ飯とともに堪能してリフレッシュすることが出来ました。
- ② 年を重ねるにつれて、健康のありがたみを痛感しています。今年より運動・食事に気を付けて、マイブームのサウナを通じて健康な体づくりに取り組んでいきます。
- ③ 組合員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに操業の安全と大漁をご祈念申し上げます。

「令和7年度に向けた水産業振興に関する要望書」提出



本県水産業は、時化による出漁日数の減少や、いか釣り漁業の歴史的低迷により、これまでに経験したことのない、我々の想像をはるかに超えるほどの厳しい現状が続いております。

このような中、昨年末には遊佐町沖洋上風力発電事業の事業実施者が、「山形遊佐洋上風力合同会社」に決定しました。また、酒田沖についても再エネ海域利用法に基づく「有望な区域」として指定されたところであります。

当組合も事業取扱高の増大と漁協の経営基盤強化を念頭に置き、漁業継続に必要な漁業振興策の検討に着手しているところです。

しかしながら、水産分野やエネルギー分野をめぐる諸問題の中には、各方面のご理解とご協力がなければ解決が困難な課題が多くあることから以下のとおり山形県に支援を要請しました。

要望事項の骨子

1. 庄内浜産水産物の販売促進について
2. 漁協経営基盤強化に対する支援について
3. つくり育てる漁業の推進について
4. 漁業の担い手育成・確保の強化について
5. 水産業の成長産業化のための漁業生産構造改革の更なる推進について
6. 港湾施設の整備充実について
7. 漁港施設の整備充実について
8. 一般海域の漁場整備について
9. 遊佐町沖洋上風力発電事業（仮称）の推進と酒田市沖洋上風力発電計画の慎重な検討と推進について

理事会情報

令和6年度第7回理事会議案

開催日：令和6年12月12日(火)
場所：第一会議室

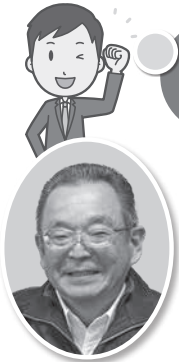
【協議事項】

- 1 令和6年度上半期監事監査の結果について
- 2 令和6年11月末現在における収支状況について
- 3 貸付金の審議について
- 4 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 5 就業時間の一部変更について
- 6 役員責任調査委員会（11月21日）について
- 7 マネロン等の防止に係る対応状況について
- 8 年末年始の取扱いについて
- 9 製氷工場製氷用冷凍機のオーバーホールについて

【報告事項】

- 1 不祥事再発防止策進捗会議（11月）について
- 2 職員アンケート結果について
- 3 組合員の加入・脱退について
- 4 令和6年度JFマリンバンク体制整備モニタリングの結果について
- 5 貸付金利率の改定について
- 6 漁業者より提出のあった「漁業行使権に基づく海洋調査中止申し入書」について
- 7 その他

職員紹介



事業部次長(兼)加工
販売流通アドバイザー
おりぐち ふみあき
折口 史明

昨年、12月より山形県漁業協同組合の一員として勤めさせていただいております折口史明と申します。昭和37年生まれの年齢は62歳です。

出身は、鹿児島県で我が南洲公の遺訓を書き残していただいた庄内藩の方々には少なからぬご縁を感じております。

仕事では1986年に大学を卒業し、流通小売業で約36年勤めて参りました。

海外勤務が長く約半分の17年！中国、インドネシア、台湾、インド、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナムなど東アジアエリアでのショッピングセンター開発と小売り事業の運営・推進を行って参りました。家族帯同でしたの

で妻や娘2人（すでに成人し孫もおります笑！）にも大変苦勞をかけたと思います。日本国内も大阪、兵庫、鹿児島、熊本、愛媛、三重、愛知、岐阜、新潟、長野、埼玉、東京、茨城、岩手、北海道を転々といたしましたがいよいよ海外に長くいたからこそ日本のすばらしさを今更ながら痛感しております。

今回、ご縁があり山形県漁業協同組合にお世話になりますが、日ごろから日本の伝統である魚食文化を守っていただいております本当にありがとうございます。近年、水揚げ量の減少や燃料費の高騰など大変厳しい環境ではありますが、山形県漁協の将来に活力と希望がもてる体制づくりに取り組んで参りたいと思います。皆様方のあたたかいご指導をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年、2025年が皆様方にとって素晴らしい飛躍の年でありますようにまた、笑顔にあふれ幸多き年でありますよう心からお祈りしております。ありがとうございました。



勉強会開催!

12月24日、山形県遊佐町沖で県などが実現をめざす洋上風力発電について、事業者として、建設会社の丸高（酒田市）などで構成する「山形遊佐洋上風力合同会社」が選定されたところですが、今後必要とされる漁業権における知識を深めようと吹浦支所にて勉強会が行われ、地区漁業者や職員等約15名が参加しました。

本勉強会では農林水産政策研究所の梶脇利彦氏をお招きし、「漁業権の“いろは”」をテーマに講話していただきました。

山形県漁協職員研修会開催



12月3日(火)、10日(火)、農林中央金庫山形支店より五十嵐祐太調査役と当組合佐藤健信用共済課長を講師に、当組合全役職員を対象としたマネロン・インサイダー等に係る研修会を開催しました。

当組合は金融機関としての役割を担っていることから、2018年に策定された金融庁ガイドラインに従い、リスク管理の一つとしてマネロン（資金洗浄）対策を行う義務があります。また、我々組合職員は融資取引等を通じ、投資家の投資判断に影響を及ぼす法人関係の情報を取得する機会が多く、どのような場面がインサイダーに当たるのか知っておかなければなりません。家族や友人等との、ほんの些細な世間話がインサイダーに当たる事例も紹介され、職員皆はっとする場面もありました。

今後も安心して窓口をご利用していただけますよう、職員一同研修会等で職務上必要となるスキルや知識を身につけていきたいと考えています。



人事発令のお知らせ

◆退職(発令日:令和6年12月31日付〔は旧所属〕)

木村 栄一 購買課〔第18漁連丸機関員〕(自己都合)

第31回 全国漁船保険推進のつどい

令和6年11月19日、東京都港区の東京プリンスホテルで「第31回全国漁船保険推進のつどい」が開催され、全国の漁業協同組合と漁船保険組合の役職員ら約240名が出席しました。冒頭、三宅哲夫会長から「漁船保険事業への日頃の協力に感謝を申し上げ、今後も安定した事業推進と保険サービスの向上に努めていく所存である。引き続き、ご支援とご協力を賜りたい。」と挨拶があり、次いで来賓として、森健水産庁長官、枝元真徹大日本水産会会長、坂本雅信全国漁業協同組合連合会代表理事会長が祝辞を述べられました。



本県からは山形県漁業協同組合の伊原光臣理事、佐藤大輔事業部長（兼）販売企画課長が出席され、感謝状が贈られました。

漁船保険事業に対する長年のご協力に感謝申し上げますと共に、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

ご協力ありがとうございました!!

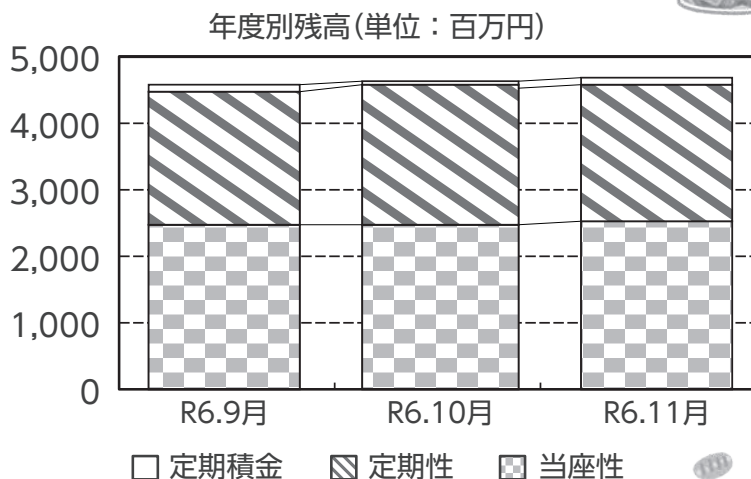
「みな貯金運動」へのご協力ありがとうございました。

10月1日から11月30日まで2か月間にわたり、「今年も貯めよう！貯金キャンペーン」と称し、組合員・関係団体他多くのお客様からご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

今年度も定期貯金を中心に推進、定期貯金では202百万円、定期積金では32百万円のご契約をいただきました。

新規契約者特典の、「スタンドキッチンツール」、「レンジでおいしくココット鍋」につきましても大変ご好評いただきました。

今後とも、年金振込や公共料金・各種ローンなど、より一層ご愛顧頂きますようお願い申し上げます。



JF JF共済



～浜の笑顔を共済とともに～

普通厚生共済

チョコ・特別キャンペーン

対象期間 2025/1/20^月 ▶ 3/21^金

A
コース



B
コース



加入
特典

期間中、対象のチョコ（普通厚生共済）にご加入いただいた皆様にもれなく山形県漁協由良水産加工場 加工品セット

※写真はイメージです。プレゼント

特典進呈条件

A
コース

病気死亡保障共済金額500万円以上+医療の保障*
または 介護共済金額300万円以上

B
コース

病気死亡保障共済金額100万円以上500万円未満+医療の保障*
または 介護共済金額100万円以上300万円未満

※医療の保障はAコース・Bコースともに医療共済の疾病入院日額3,000円以上を対象とします。



お問合せは 山形県漁業協同組合
本所・各支所・出張所 まで

酒保の海だより

明けましておめでとうございます
 酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十六弾！！
 年末から正月と何かとアルコールを飲む機会が増えますよね～
 今回は冬とアルコールの関係性について！

冬にアルコールを飲むと低体温症になりやすくなる？

飲酒すると血行が良くなり体が温かくなりますが、アルコールを分解するために多くの水分を必要とするため、体温は下がります。
 寒い所で寝ると体温が急速に下がり、低体温症になる恐れがあります。
 酔いを覚ましてから、温かい場所で寝るようにしましょう

また、冬の飲酒は夏より悪酔いしやすいと言われています。
 これは冬特有の身体の機能の働きによるもので、夏場は発汗作用により摂取したアルコールがある程度汗となって体外に排出されますが、冬場の寒い季節は汗をかかないのでアルコール分を全部体内に吸収して溜めこんで悪酔い状態になりやすくなります。
 この状態で今度は暖かい所にいくと血管が拡張して血流が良くなり体温が上昇して眠くなるというメカニズムもあるようです。お酒は場所とタイミングに気を付けて飲みましょう



海の事件・事故は電話118番

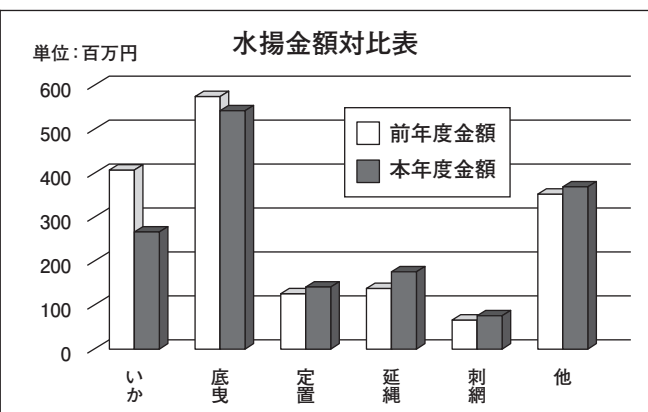
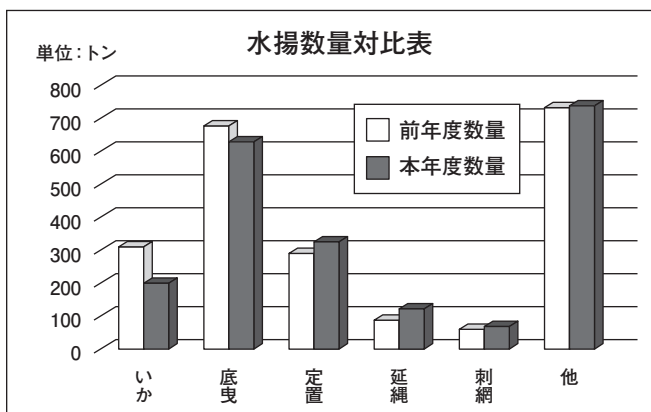
酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和6年12月31日現在

(単位：kg, 千円)

	12月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	12月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	26,217	627,208	676,982	▲49,774	41,649	545,346	578,340	▲32,994
2 刺網漁業	840	73,621	63,675	9,946	1,234	76,477	66,224	10,253
3 いか一本釣漁業	80	66,883	144,180	▲77,297	143	71,207	126,000	▲54,793
4 船凍いか釣漁業	49,780	131,188	165,352	▲34,164	74,852	195,920	281,553	▲85,633
5 はえなわ漁業	2,885	122,285	88,625	33,660	5,563	180,512	139,970	40,542
6 ごち網漁業	12	70,809	86,629	▲15,820	6	54,469	64,367	▲9,898
7 定置網漁業	19,009	324,702	287,874	36,828	13,627	139,913	128,802	11,111
8 採貝藻漁業	623	122,253	87,367	34,886	1,064	104,010	72,988	31,022
9 その他の漁業	15,449	541,460	549,600	▲8,140	3,612	193,003	188,732	4,271
10 張網漁業	0	1,548	5,490	▲3,942	0	767	3,204	▲2,437
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	4,787	19,552	26,438	▲6,886
合計	114,895	2,081,957	2,155,774	▲73,817	146,537	1,581,176	1,676,618	▲95,442



「ぎよさい」でしっかり！「積立ぷらす」で安心！



水揚情報

令和6年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		1,419,873	76,427	50,917	394,872	106,319	210,784	140,415	46,804	393,335
月間水揚	県内船水揚	66,754	2,842	750	12,386	1,853	16,939	9,688	283	22,013
	県外船水揚	74,994	0	0	74,994	0	0	0	0	0
	合計	141,748	2,842	750	87,380	1,853	16,939	9,688	283	22,013
前年同月水揚		248,191	8,531	4,308	119,046	5,332	32,338	19,124	161	59,351
本年度水揚	県内船水揚	1,312,457	79,269	51,667	249,314	108,172	227,723	150,103	47,087	399,122
	県外船水揚	249,165	0	0	232,939	0	0	0	0	16,226
	合計	1,561,622	79,269	51,667	482,253	108,172	227,723	150,103	47,087	415,348
前年度水揚累計		1,650,183	70,928	48,973	649,276	107,130	216,236	144,366	24,325	388,949
増減		-88,561	8,341	2,694	-167,023	1,042	11,487	5,737	22,762	26,399
本年度水揚計画		2,237,000	92,000	65,000	929,000	122,000	287,000	181,000	27,000	534,000
達成率		69.8%	86.1%	79.4%	51.9%	88.6%	79.3%	82.9%	174.3%	77.7%

今あがっている魚 - 12月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	するめいか	73,234		↘	1	するめいか	40,517		↘
2	ずわいがに	16,379		↘	2	たい	10,645		↘
3	たい	8,774		↘	3	べにずわい	8,190		↘
4	さけ	6,499		↘	4	あじ	7,282		↗
5	さわら	5,443		↗	5	さけ	5,851		↘
6	ほっこくあかえび	5,373		↘	6	さわら	2,824		↗
7	あじ	3,536		↗	7	ぶり・いなだ	2,713		↘
8	たら	1,268		↘	8	ずわいがに	2,031		↘
9	べにずわい	1,147		↘	9	ほっこくあかえび	1,725		↘
10	ひらめ	1,117		↘	10	たら	1,607		↘

月間MVP

月間MVP

◎明けましておめでとございませう。今年もよろしくお祈りします。
今シーズンは雪が多いとの予報でしたが、年末年始は天候に恵まれた、過ごしやすいう正月を迎えることができたことと思います。地球温暖化の影響でしようか、雪が降っても以前よりすぐに溶けているような気がします。

◎温暖化は海水温の上昇や様々な魚種の資源量減少にも影響を与えていると考えられています。このような状況のなか、昨年のサワラの漁獲量は約57トンとなり、久しぶりの豊漁となりました。昨年のサゴシ漁獲量も多かったことから、今年も引き続き豊漁になることを期待しております。

◎また、昨年のサザエの漁獲量は107トンとなり、平成12年以來の100トン越えとなりました。サザエは暖海性の巻貝で冬の海水温が低すぎると、資源量も減少する傾向があります。近年は温暖化の影響もあり冬の生き残りが多くなっているのでしょうか、以前は目につかなかった1〜2cmの小型のサザエも増えているという話も聞きます。

◎サザエと言えば、磯焼けの影響で実の痩せたサザエにキャベツを食べさせると、実入りが良くなるだけではなく、柔らかく甘みも増すという記事を見たことがあります。他県の例ですが、これを参考に身を柔らかくするため様々なエサを与えて食べ比べてみたところ、エサの種類に関わらず、「サザエはお腹いっぱいになると柔らかくなる」という面白い結果になったと聞きました。サザエの砂抜きをする際に、アオサやホンダワラや昆布をエサにするという話も聞きますが、色々試して頂ければと思います。

◎「おいしい山形」はこれからも漁業者はじめ地域の皆様のお役に立てる紙面づくりを心掛けていきます。皆様からのご意見・情報を提供いただきますようお願いいたします。



山形県産の海産物を食べつくす!?!in庄内海丸



YouTube動画完成!!

地元山形が誇る大人気ローカルタレント ミッチーチェンさんが、庄内海丸とコラボして庄内の美味しいプライドフィッシュを次から次へと紹介し、食べつくしていくYouTube動画が完成しましたのでお知らせします!

12月11日にアップされてから約2週間程で4.3万回再生されるほどの人気動画となっております。是非一度ご覧ください!!



冬の味覚の名パイプレイヤー「岩のり」が「朝だ!生です旅サラダ」にて紹介されました



もうすでに何度も庄内浜を生中継して頂いてます、「朝だ!生です旅サラダ」が1月11日に放送されました。

今回紹介されたのは、冬の最も寒い時期に一番おいしくなる、庄内浜の冬の味覚に欠かせない名パイプレイヤー「岩のり」です。

温海地区で磯見漁を営む土田信明さん、千里さんご夫妻をはじめ、県漁協女性部から和田光子部長、温海支部粕谷幸子副部長、榎本真由美副部長が岩のりにまつわるアレコレを名一杯伝えてくださいました。

また、レポーターの澤井一希さんも、体を張って庄内浜の極寒とおいしさをパワフルに伝えてくださり、とても盛り上がった放送となりました。

通常的一生分に匹敵する程の岩のりを、お腹に詰めただけでは…と心配になるほど、「おいしい!」とほおばってくれた澤井さんのお人柄に、女性部の皆さんの笑顔が絶えませんでした。

庄内浜ではおなじみの岩のり、ぜひ機会があったら食べてみてくださいね。



水研の何でも魚ッティング

ベトナム小話 ~ベトナムのアバさん~

昨年の11月、私は初めてベトナムのダナン市を訪れました。ダナンには「魚醬村」と呼ばれる村があり、そこに行って「ヌックママ」という魚醬を調査することが目的でした。そちらの話はまた別の機会にすることとして、今回はベトナムでの小話をひとつ。

ダナン市はベトナム第三の都市で、ミーケビーチという美しいビーチがあることからリゾート地としても人気の場所です。早朝5時、私たちは市場を見学した後にこのビーチに立ち寄りました。ビーチでは地元の漁師さんが二人一組で服のまま網を持って海に入って行き、網を両端から引いて地引網をしていました。網には3匹の小さな魚が入っているだけで、また何回も海に入って漁を続けていました。この若い漁師さん達が昔ながらの漁をしているビーチの先には建設中の高層ビルが立ち並び、経済発展の真ただ中にあるベトナムの移り行く姿を目の当たりにし、なんとなく切ない気持ちになりました。

ビーチ沿いの道路ではたくさんの方々がダナン市民が繰り出しており、道に設置している健康器具で体を動かしたり、太極拳のような体操をしたりと、早朝からとてもにぎわっていました。そこで出会ったのが道端で魚を売る女性たちです。お客さんからの要望に合わせてその場で鱗、内臓を取り、ぶつ切りにして調理しやすいようにしたりして売っていました。まさにベトナムのアバさんだ!と、嬉しくなりました。スマートフォンの翻訳機能を駆使して会話したところ、「目の前のビーチで獲れた新鮮な魚だから美味しいよ!」と笑顔で答えてくれたのでした。(続く…?) 水産研究所 資源利用部 高木 牧子



高層ビルと漁師



ベトナムのアバさん

色々な魚を売っている